

竜王南小学校 学校関係者評価書

令和5年2月20日(月)

甲斐市立竜王南小学校 学校関係者評価委員会作成

第1回 学校関係者評価委員会

実施日：令和5年2月13日(月)午後3時30分～4時30分

会場：竜王南小学校会議室

参加者：(学校関係者評価委員)

学校評議員 鶴田 重雄 梶原 照夫 米山 壽浩 保坂 秀人

P T A 正副会長 河野 保志 清水 静香 清水 雅也 山本 円佳

(学校側)

校長 長谷川佳代 内藤 賢 松橋 勝 吉田圭太郎

I 学校側から提案された内容

(1) 教職員の自己評価及び改善策

(2) 児童・保護者アンケート結果

II 協議された主な内容

(1) 自己評価(教職員・児童・保護者)の結果から

(2) その他

<学校関係者評価書>

I 全体評価

○自己評価の結果は、全39問中、38設問で肯定的評価が90%以上となったことから高い水準にあるといえる。

・「ICTの効果的な活用」で否定的評価16%となり、A評価は12%と低くなっていることから、ICTの「効果的な活用」に教師が不安を持っていることがわかる。

◇「ICTの活用について、何か基準があるか。」との質問に、甲斐市教育委員会で提供するアプリ等を使用することや、市内各校のICT教育推進委員による情報の共有により活用を模索していることの説明があった。

◇「ICT活用の成果はあるか。」について、カメラ機能やアプリの活用により、仲間の考えや作品の共有を効果的に行えることが挙げられた。一方、タブレット端末を使用することで対面によるコミュニケーション能力が低下する危惧が挙げられ、何を目的として使用するかを明確にすることが大切なことが確認された。

○児童アンケートの結果では、学習状況で肯定的な結果が見られるが、他の設問で心配な面が見られる。

・「朝ご飯を食べて登校しているか」の否定的評価が11.3%となり、昨年の5.4%から増えている。

・「夢や希望を持っているか」の否定的評価が13.9%となり、昨年の13.2%からやや増えている。

◇朝ご飯を食べていない児童が一定数いることについて、食べられない状況にあるのか、それとも夜遅くまで起きていることから朝起きられずに食べない習慣になってしまっているのかなど、もう少し詳しく知りたい。

◇夢や希望を持っていない児童がいることが心配であり、これは今の大人の責任と考える。学校では教師が、家では親が子どもに夢を語ってほしい。

○保護者アンケートの結果では、「わからない」と回答する割合が一定数ある。

◇学校から発信していることを家庭で受け取ることが大事なので、ホームページやおたよりを見ていただきたい。

◇新型コロナウイルス感染症により来校できない期間が続いたが、ウイズコロナとなっていく生活の中で、保護者には学校教育活動に参画していただきたい。

Ⅱ 特徴

- 昨年度の児童アンケート結果と比較すると、特に学習面で肯定的回答が増えている。昨年度の課題となっていた家庭学習時間と授業改善について、学校の取組の成果がアンケートに表れた。校内研を中心とした授業改善と学級担任の学級経営の充実への日々の努力により、授業者と児童の信頼関係の深まりと、授業への意欲の高まりが読み取れる。
- ・「学校の授業は楽しいか。」の肯定的評価が93.2%で、A回答の割合が4.6%上がった。
 - ・「先生はよく勉強を教えてくれるか。」の肯定的評価が99%となった。
 - ・「国語の授業内容はわかるか。」の肯定的評価が96.6%、「算数の授業内容はわかるか。」の肯定的評価が95.6%となった。
 - ・「授業でわからないことを先生に聞いているか。」のA評価が48%と、昨年度より10%以上増えた。
 - ・「学年の目標時間の勉強をしているか。」は、A45.1%（昨年40.6%）、B43.1%（昨年36.2%）、C8.5%（昨年19.5%）、D3.4%（昨年3.7%）と、目標時間勉強ができる児童の割合が増えている。
- ◇児童がよくあいさつをしてくれる状況からも、学校生活が充実していると感じる。
- ◇ホームページで学校教育活動の様子がわかるが、できれば児童のコメントも知りたい。
- ◇キャリア教育は、家でも子どもに話すことが大事である。

Ⅲ 今後の課題として意識されたいこと

- ・児童アンケート結果「夢や希望を持っているか」の否定的評価回答児童が1割以上いることを重視し、教職員が、そのことを常に意識して教育活動を行っていく。大人の責任なので、学校では教師が、家では親が子どもに夢を語ってほしい。
- ・ICTの効果的な活用のために、今後も教職員全体で研修に励む。
- ・ホームページでの画像掲載等には、個人情報に配慮しなくてはならないため、掲載できる内容が制限される。学校教育活動の様子をより深く掲載するために、会員制にするなどなんらかの方法を探る。
- ・ウイズコロナにおける安心・安全な教育活動と地域との連携を、学校と保護者、地域にとって無理なく推進する。

※特記事項

- ・25人学級について本校の状況への質問があったが、現1～6学年児童数では25人学級の対象にならないことの説明があった。
- ・朝ご飯を食べていない児童が増えていることから、食べていない理由を確認したい。
- ・教職員が授業改善への研修に励む一方で、社会的常識も身に付けてほしい。

